

海外ビジネス情報

バンコク



タイ・カンボジア国境紛争がビジネスに与える影響

北陸銀行 国際部
バンコク駐在員事務所
所長 湧川 裕明

1. はじめに

2025年5月28日、カンボジアとタイの国境で発生した両軍の銃撃戦により、カンボジア兵1名が死亡し、複数の負傷者が出ました。これにより6月23日以降、タイ軍はカンボジアとの国境にある検問所をすべて閉鎖し、医療・教育関係以外の車両や人の往来を禁止しています。さらに7月24日も軍事衝突が起こり、多くの人々が犠牲となり、危険レベルが引き上げられました。タイ側が一旦は停戦案を受け入れましたが、カンボジアによる攻撃が続いていることからすぐに撤回し、政治情勢は予断を許さない状況にあります。今回の紛争がもたらす影響について考察していきます。

2. 国境紛争の背景

筆者はタイに駐在して3年近く経ちますが、タイとカンボジアの関係性についての認識はほぼありませんでした。

改めて調べてみると、タイとカンボジアの国境紛争は、主にプレア・ビヒア寺院の領有権を巡る対立に端を発しています。この寺院はカンボジア領内に位置するものの、主要ルートがタイ側にあるため、両国が周辺地域の領有権を主張してきました。2008年に同寺院遺跡がカンボジアの世界遺産として登録されたことにタイが反発し、寺院近くの国境地帯で銃撃戦が発生しました。5月28日の衝突発生地点も寺院からそれほど離れていない場所でした。

【タイ・カンボジアの国境地図】



3. タイとカンボジアの貿易関係

互いにASEANに加盟するタイとカンボジアの二国間貿易の状況について見てみます。

	輸出	輸入
タイ →カンボジア	92億ドル (タイの輸出額全体の3.1%)	12億ドル (タイの輸入額全体の0.4%)
カンボジア →タイ	261億ドル (カンボジアの輸出額全体の4.6%)	285億ドル (カンボジアの輸入額全体の32.2%)

【図1】2024年 タイ-カンボジア間の輸出入額とその割合(UN Comtrade参照、カンボジアの数値は便宜的に算出)

2024年1月から12月のタイからカンボジアへの輸出額は92億ドル（約1兆3,340億円）と、タイ全体の輸出額の3.1%にあたります。輸入額は12億ドル（約1,740億円）で、タイ全体の輸入額の0.4%です。

一方、カンボジア関税消費税総局の発表によると、同期間のカンボジアの輸出総額は261億ドル、輸入総額は285億ドルとなっており、UN Comtradeの数値から対タイ貿易の割合を計算すると、輸出額の4.6%、輸入額の32.2%となります。

この数値から、タイにとってカンボジアは輸出入ともに取引シェアが小さいものの、カンボジアは様々な物資をタイからの輸入に大きく依存しており、タイを重要な輸入相手国として位置付けていることが分かります。

検問所の閉鎖により陸路での物流が不可能になり、経済活動への影響が心配される中、カンボジアではフン・マネット首相がタイからの燃料とガスの輸入のすべてを停止すると発表しました。国民生活、経済活動に必要なエネルギーの輸入を、仕入れ側が停止するという異例の状況であり、カンボジアの強気な姿勢が窺えます。対してタイは、カンボジアの最大輸出品目であるキャッサバ製品の輸入管理強化を打ち出しており、カンボジアの経済活動に深刻な影響を与えることが懸念されています。

4. おわりに

「タイプラスワン」として、カンボジアに製造拠点を設けている日系企業の中には、カンボジアからの部品輸入を陸路から海路へ変更し始めたところもあります。輸送のコストが上昇し、日数もかかるため、今回の国境問題が長期化した場合、大きな影響が出る恐れがあります。

カンボジア側は、「タイが国境検問所を再開すれば、我々も再開する」としてはいますが、先に動いた方の国民から「弱腰」との批判が出ることを恐れてか、すんなり話が進んでいません。特にタイでは、首相の解職の可能性も出てくるなど、内政問題に発展しており、経済活動の停滞や国際的なイメージダウンが懸念され、今しばらくはこの問題から目が離せない状況にあると言えます。

<ご注意> 文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。記載内容については、ご利用者の判断と責任のもと、ご利用くださいますようお願いいたします。

ほくりく長城会

海外ビジネス情報

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局
〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F
((株)人材情報センター内)
TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565
E-mail: info@chojo-hokugin.jp